

拠出金名：国際連合大学拠出金

国際機関等名		国際連合大学 (英文名称・略称) United Nations University (UNU)						
種 別		国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他	
所轄官庁担当局課名		環境省総合環境政策局環境経済課環境教育推進室						
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率								
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)、(注2)	ODA率(%)		
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト				
	平成18年度	120,000		円建て			(2006年) 100	0
	平成17年度	120,000					(2005年) 100	0
	平成16年度	70,000					(2004年) 100	0
*この国際機関には、環境省のほか文部科学省、外務省から拠出あり。								
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004-2005年度決算)				
	国 名	金額 (千ドル)	率(%)	当該年度の収入 372,921千ドル				
1位	日本(注3)	6,636	32.9	当該年度の支出 81,325千ドル				
2位	マレーシア	4,800	23.8	次年度への繰越 299,542千ドル				
3位	オランダ	2,268	11.3	会計検査機関名				
4位	ドイツ	1,899	9.4	国連会計検査院				
5位	カナダ	1,207	6	(UN Board of Auditors)				
上記の率及び順位は2006年のもの				(現在の構成員の出身国: 南ア、仏、フィリピン)				
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)								
・わが国の大学、研究機関の国際化の増進と地方自治体、企業との協力事業の推進を評価。 ・開発途上国の研究者の活用と育成に貢献していることを評価。 ・国連におけるシンクタンクとしての役割はますます重要。								
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価								
・外部及び内部による総合評価を実施。右結果を反映した国連大学改革(本部の機能強化、国連諸機関との連携強化等)の推進努力を評価。 ・光熱費、人件費等の経費の節約を実施しながらも、施設の維持及び契約研究者(非常勤)の雇用による学術水準の維持に対する自助努力を評価。								

「邦人職員数うち幹部以上」以下の項目については、「国際連合大学拠出金」(p.13)を参照

(注1)「持続可能な開発のための教育」支援に係る拠出金分のみの率

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。

(注3) 当該機関に対する拠出金全体によるもの。日本の拠出額は外務省、文部科学省、環境省を合わせた額。